

NZ地震から1週間

「ニュージーランドをサポートしているNクライストチャーチ P O法人を通じ、両国付近の地震で安否不明の關係者に感謝の気持ちになってる日本の女性を伝えるメッセージ性看護師の父親が28日、邦人被災者の家族

指して9000ポンド離れた地に留学先を選んだ娘の思いに納得しました」と記している。

メッセーは「NZ(ニュージーランド)の皆様へ」の言葉、日本の皆様へ」とタイトルが付けた師は「一刻も早く、日

れ、NPO法人「AMDA(アムダ)」の看護師を通じ、岡山市のAMDA本部にメールで送られてきた。

父親の意向で父親の氏名は公表されていなが、メールした看護師は「一刻も早く、日

本とNZの人々に伝えてほしいと、メッセーを託された」と本部に話したという。

父親はメッセーの中で「わずかな望みを持ってNZにやってきていますが、(娘は)残念ながらまだ発見されず……」と心痛を吐露しながらも、救助関係者や娘の友人、留学あっせん会社、日本政府などに「ただただ感謝の気持ちでいっぱいです」と謝意をつらねている。日本人不明者28人のうち13人は、

語学力アップなどを目標ドアベニュー(京都千代田区)を通じてクライストチャーチの「キングス・エージェンシー」に留紛争発生時に医療・保健衛生分野などの緊急支援活動を行う団体で、今回の地震ではトしている。

【神足俊輔

多くの人に支えられている娘は、幸せ者です

世界に通じる看護師目指し被災、不明に

父が手記

△NZの皆様、日本の皆様へ▽
私の娘は「世界に通じる医療従事者」を目指して語学研修中に、今回の地震にありました。わずかな望みを持ってNZにやってき

得しました。
日本政府は地震発生直後から、外務省、現地NZ大使館、クライストチャーチ領事館(在クライストチャーチ出張駐在官事務所)を中心に総力を挙げて対応されています。被害を受けた家族が、やかもすると甘えがちになる事柄にも真心を持って対応していただいている姿に頭が下がります。

娘の友人はあらゆる手段を使って応援してくれました。現地に入るとボランティアの方々が親身になってサポートしてくださっています。会社の指示で、急ぎよ任務につかれた方々も、自分を見失いがちな家族の気持ちに寄り添って、対応してくれています。

最後にありますが、救助にあたる方々が2次災害を受けられない事を、心よりお祈り致します。

地震発生直後からNZ政府は非常事態宣言を発し、文字通り政府・国民が一体となり救出活動にあたっています。その献身的な姿を見て、はるか9000ポンド離れた地に留学先を選んだ娘の思いに納得

私の娘の留学先をあっせんしてくれた会社は、地震発生以降、つらくて寝られない家族に対し、24時間、1〜2時間ごとに情報を流しています。

そして、何よりも高い技術力と崇高な精神をお持ちの各国の救援



28日、大規模地震の発生から7日目を迎え、がれきの撤去が進む中、捜索が続くクライストチャーチの街並み。